



# 「これからの奈井江をずどーんとたくらむ会」の前に

# この会を行う理由

少子高齢化や人口減少が加速する中、町民一人ひとりが役割を持ち、生きがいを感じて暮らし続けることができる地域づくりが求められています。

奈井江町では、令和4年度（2022年度）から5年間、国の交付金制度を活用しながら、「奈井江版・生涯活躍のまち」を掲げ、さまざまな事業に取り組んできました。

これまでの取り組みを土台に、**「生涯活躍のまち2.0」**としてバージョンアップし、共感性が高く、さまざまな成果を上げきた**「まちじゅう音楽」**を軸としたまちづくりをさらに進めていきます。音楽イベントの開催にとどまらず、**日常に音楽が根付き、人・仕事・経済が循環する仕組みづくり**を目指します。

この会（本資料では「ワークショップ」と呼ぶ）とは、**「生涯活躍のまち2.0」の計画づくりに、町の皆さんの声を反映していくため**に開催するものです。

# 音楽が持つ力とは

「音楽」という言葉を聞くと、楽器を演奏することや、コンサートに行くことをイメージする方が多いかもしれません。普段そのような活動の機会がないと、自分には関係のないことのように思われる方もいらっしゃるのではないのでしょうか？  
ですが、音楽は特別で敷居の高い活動ではなく、いつでも日常の中にあり、誰でも関わるすることができるものとして考えてみたいと思います。



# 「まちじゅう音楽」とは？

いつでもどこでも音楽や音に触れることができ、子どもから高齢者まで年齢を問わず、障がいのある人も外国人も、誰もが音楽を通じてつながることができる。そんなまちづくりをすすめます。

クラシックやロック、ジャズに詩吟などなど、ジャンルを超えて、聴く、歌う、奏でるなど、本来のたのしみはもちろん、音をつくる、音を描く、音を語るなど、「音」そのものを全身で味わい表現するのが、奈井江らしい楽しみ方なのです。

役場、体育館、図書館、コンチエルトホールなどの公共施設。まちのあちこちに、心地いい音があふれます。癒やしの力、ココロとカラダを元気にする力、人をつなげる力など、音楽の持つ力や表現する喜びをわかちあいながら、創造力あふれるまちにしていけます。



# 皆さんと考えたいこと

音楽イベントの企画ではなく、  
まちを良くするアイデアを考えます。

これまでのイメージ



音楽 = 音楽家やファンだけが  
楽しむ「イベント」

これからのイメージ



音楽 = まちの魅力と日常を  
豊かにする「きっかけ」

# 音楽をエッセンスにして考えたい7つのテーマ



① はたらく



② 学ぶ



③ かせぐ



④ つながる



⑤ つくる・使う



⑥ 活かす・なおす



⑦ 伝える・ひろげる

# 音楽をエッセンスにして考えたい7つのテーマ

## 考え方のヒント

音楽でどんな仕事生まれる？

子どもが将来やってみたいと思える仕事って？

音楽活動と、副業やマルチワークを両立するのはどんな働き方？

自分の仕事に音楽を掛け合わせることを考えてみると？

## 例えば…

昼間は福祉の仕事、夕方からは音楽の仕事のマルチワークが可能な仕組みをつくる

子どもが音楽に関わる仕事を体験できるイベントを開催



## ① はたららく

# 音楽をエッセンスにして考えたい7つのテーマ

## 考え方のヒント

子どもたちにどんな体験をしてほしい？

大人が参加できる学びの場とは？

自分が教える側での関わり方は？

アーティストや楽曲について学ぶ機会はあるか？

## 例えば…

「放課後音楽クラブ」企画(子ども向けの音楽ワークショップ)

音楽版ビブリオバトル(音楽の知識を披露しよう)



② 学ぶ

# 音楽をエッセンスにして考えたい7つのテーマ

## 考え方のヒント

町外の人がお金を使いたくなる体験や仕組みとは？

音楽を掛け合わせた特産品やお土産とは？

奈井江にまた来たい、滞在したいと思ってもらう方法は？

「音楽を楽しむ」だけでなく、「応援したくなる」仕組みとは？

## 例えば…

泊まれる音楽室 × コンサート × 地元グルメを楽しめるプラン

音楽のモチーフのパンやお菓子の開発



③ かせぐ

# 音楽をエッセンスにして考えたい7つのテーマ

## 考え方のヒント

どんな人たちがつながったら面白い？

町外の人とつながる仕組みとは？

世代を超えた交流の機会や場とは？

歴史を引き継ぎ未来につなげる方法は？

## 例えば…

友好都市ハウスヤルビとの  
オンライン音楽祭

奈井江にきたアーティストのサインウォール設置(コンサートの記録を残す取り組み)



④ つながる

# 音楽をエッセンスにして考えたい7つのテーマ

## 考え方のヒント

今ある場所・施設をもっと活用するには？

どんな音楽スポットがあつたらいい？

奈井江の好きなところ(農産物、景色、「ずどーん」など)は？

音楽「を」つくる、音楽「と」つくる、音楽「を」使う、などに変えて考えてみると？



⑤ つくる・使う

## 例えば…

使っていない施設の一室を、誰でも演奏できる「みんなの音楽室」にする

成長前のメロンに音符を刻んで、「音のメロン」をつくる

# 音楽をエッセンスにして考えたい7つのテーマ

## 考え方のヒント

空き家や空き店舗をどう活用する？

使わなくなったものを再利用する方法は？

健康づくりやコンディショニングにどう活かせる？

当時の記憶を思い出す仕掛けとは？



## ⑥ 活かす・なおす

## 例えば…

空き家を改装して、音楽に合わせて体を動かせる健康づくりの場にする

家に眠っている楽器を持ち寄って直し、思い出の曲を一緒に演奏する会を開く

# 音楽をエッセンスにして考えたい7つのテーマ

## 考え方のヒント

伝えたい奈井江の魅力とは？

特に町外の人に、どんな方法で魅力を伝える？

町内外に、まちじゅう音楽の仲間を増やすには？

奈井江のどんな音楽風景を発信したい？



⑦ 伝える・ひろげる

## 例えば…

「まちじゅう音楽サポーター」(町内外の人が登録できるファンクラブのような組織)

サウンドマップをつくる(奈井江らしい音を聴きながら、町を巡りたくなる仕組み)

# ワークショップの形式

「ワールドカフェ形式」と呼ばれるかたちで行います。

テーマごとのテーブルを用意し、参加者は自由に移動しながら、興味のあるテーマのテーブルで他の参加者とアイデアを出し合う形式で行います。



固定のグループ・席で話す形式よりも、参加いただきやすいと思います！

# ワークショップの基本ルール



**「前例がない」を  
楽しもう**

バージョンアップや新しい  
アイデアを歓迎します。



**立場を脱ぐ**

肩書や年齢に関わらず、対等  
に話しましょう。



**否定ではなく  
「Yes, and」**

他の参加者の意見を否定せず、  
よく聴き、建設的な意見交換を  
しましょう。

# ワークショップの流れ

以下のような流れと時間配分で行います。

- **開会・趣旨説明（10分）**  
この会の目的や流れを説明し、参加者の理解を深めます。
- **ワーク①（30分）**  
テーマに沿って、アイデアを出したり、意見交換をします。
- **休憩（5分）**
- **ワーク②（30分）**  
テーマに沿って、アイデアを出したり、意見交換をします。
- **共有・振り返り（15分）**  
各テーマごとのアイデアの内容を共有します。